はぁ…
忍の稼いだ銭を受け取りに叔父上の屋敷にか…情けない主だ
とぼーとぼ
主様！
ッ!?
…ぼたんッ
お会いしとうございました！一彦様ッ

御息災で主様！
ぼたんこそ久しぶり！
シュタ
あ、会えて嬉しいよ…けど
随分と大胆だね…その…新しい装束…
わあぁあ〜
こ、コレは…叔父上殿が誂えたもので私の趣味では決してッ…
…お気に召しませんか？
ドキッ
――ッ
ガシッ
そんなこ…
と…

ピィィイイイ
ッ…呼笛
ごめんッ任務中に呼び止めてしまって
い、いえ…私こそ…
仕方ないさ今ぼたんは
叔父上の忍だもの
主様
いかなる時でも私は
!
主様の忍です

ぬぱっ
叔父上殿…こう毎日呼びつけるなり盛られると…
巡回任務に支障を…
そんな理由でここにお前を遣わせるわけなかろう…あと…
ん
ちゅく
「叔父上殿」ではない…
「主様」じゃろう？
…ふッ
それに…
ぶぶっ
ぬぶ

お前も
まんざらでは
なかろう？
クリュ
クリュ
ピクッ
ッ
私…は
んッ…
仕方ぁ…ッ
な…くっン
にゅぷんっ
んッ
ビクッ
うっ…
にぷっ
ぬぷっ
ちゅぷ
ぷ
ふっ…
ビクン
ビクン
じゅぷっ
じゅぷぷ
ん…っ…
プルプル
フー…
フー…
フー…
フー…
ギチ
ギチ

元より儂の采配一つで屋敷への支援やお主らなぞどうとでも…
それはッ…ど、どうか御勘弁を…
下手に逆らうべきでは…ないようですね…
わかれば良い
なに軽々に甥と恋仲の者を見捨てたりも引き裂きもせぬ安心せい
ッ…私と主様の仲を把握して…
儂はただ…な
お前が欲しいのじゃ
ぼたん

そうかそうか…
一彦は前戯で
ここまで悦ばせて
くれなかったか
すっ
可哀想にのぉ
女一人も満足
させてやれぬとは
実に情けない
ん？
ぐっ
いっ
あの人の…
主様の…ッ
侮辱だけは
許しません…
に…
ビクッ
ずしっ
いいぞ
ぼたん
お前の
そういう
ところが
たまらん
!!?

お前の気丈さと可憐さに当てられ
ほれ こんな…
ずいずい
ぎょっ
ちょ…そんなに近づけ…
…大きさも、硬さもさっきより…
ずい…
ドクンドクンッ
本当に興奮しているんだ…
ピクンッ
あ…ッ
ひょいっ
ちゅ
ぬぷぬぷっ

お招きありがとうございます叔父上殿
時間通りじゃの一彦
どうした？西洋の家具が珍しいか？
そ、そうですねどこを見ても初めての——
とぷ
ぷぴ
ピク…
楽にするが良いさて本題じゃ——
は、はい…彼女にこれ以上の負担をかけるのは——
案ずるなアレの管理は万全を——
ピク…

ドクッ
ぶるぶる
ドクッ
ドクッ
ビュルビュル
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ぞくぞく
ドクッ
びちびちっ

ガチャ
——では…
ぼたんのこと
よろしくお頼み
します
ずるんっ
ぼたんは
儂好みの
ドロォ
バタン
あぁ
任せろ…
はぁ
はぁ
助平な忍に
躾けてやる
ガク
ガク

流石に肝が冷えたの
銭の受け渡し前に呼んでおったのを忘れておったたわ
ぐぽっ
じゅるっ
じゅぷっ
ぐぷっ
フー…
フー…
それにしても一彦の奴お前の心配事ばかり述べて
妬けるのぅ
じゅるっ
ちゅずっ
じゅっ
ちゅっ

…頭が回らない…
ちゅっぽんっ
あの人のため…仕方なく汚れている…だけ…
なのに……なんだかきもち……
駄目…ッこれ以上は…
も、もう十分でしょう…
私はこれにて通常任務に…
ドロォ…
よた
よた
ぬ
？